

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年5月25日（木）現在

「野菜全般」

野菜全般の入荷量は西南暖地から関東産への切り替わりの時期で減少となっているが気温高から果菜類中心に増量となった。末端の消費は伸びておらず果菜類の荷動きは鈍く重苦しい販売環境となった。今後、関東産・東北産が主産地となり量販店では夏秋品目の売り場構成となることから果菜類の引き合いは強まるが増量を踏まえ相場は保合となる見通し。

「いちご」

出荷終盤で入荷量も少ない状況の中、量販店の売り場が縮小しており、バランスよく荷は動いている状態で相場は保合の見込み。

250g パック 2L 270 円

「きゅうり」

好天により九州産の急増、関東産の潤沢入荷、東北産の出揃いと産地混在での販売で相場を下げたの販売となったが関東産出荷後半による下位等級品の増加と九州産の切りあがりから週末からの荷動きは回復が見込まれる。

5 kg A品 1,600-1,400 円

「アスパラガス」

北海道・九州産の増量と高値疲れから荷動き鈍く相場を弱めながらの販売となった。今後も売り場を狭めないよう相場をもう一段下げ売り込みを強める見通し。

100g 束 A L 160-150 円

「えんどう類」

気温の上昇から福島県産露地物を含め入荷量は急増したことから売り場拡大の為、相場を弱めながらの販売となった。今後も荷動きを止めないよう相場は弱保合の見通し。

さやえんどう 2 kg A 2,000-1,800 円

スナップエンドウ 2 kg A 2,500-2,400 円

J A ふくしま未来
営農経済部園芸課